

項目		説明
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) の臨床病理学的検討
	研究目的	現在 DLBCL に対しては R-CHOP 療法を施行することで 6 割程度の患者さんに治癒が見込まれますが、治療が行えない、再発をきたして長期の生存が見込まれない患者さんが一定割合存在し、よりよい病型分類、層別化治療が求められています。また、今後診断分類、治療方針が変わることも見込まれています。患者さんの診療データ、組織標本を後ろ向きに検討することで、現行の診断分類や診療方針下での、DLBCL 患者さんの診断や治療経過を解析することが目的です。
	研究対象者	2003 年 01 月から 2021 年 12 月に DLBCL または関連するアグレッシブ B 細胞リンパ腫の診断で当センター血液・腫瘍内科を受診した患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 9 月 20 日～西暦 2026 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研究 責任者	血液・腫瘍内科 高橋 寛行
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施 診療科/部局等	血液・腫瘍内科 病理診断科
	共同研究の場合、共 同研究機関および各 施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および情 報公開に関する窓口		血液・腫瘍内科 高橋 寛行 045-520-2222(代)